



ブランドとしての上質を極め続ける いつの日も心を満たす一杯であるために

世界の生産国へ経営者自ら足を運び、五感で確かめ、
信頼できる農園から買い付ける。
JASやフェアトレードの認証コーヒー、希少在来種など、
選び抜いた豆を、さらに焙煎・抽出もこだわり抜く。
美味しい一杯のコーヒーで、日常に彩りと癒しを届けるために。



コーヒー豆自動選別機によるブランド化事業 パーキングドライブスルー方式によるネル式ドリップコーヒーバックの提供

1. 取り組みの経緯

産地から届くコーヒー豆の品質低下を受け、自社での目視によるハンドピッキングを強化してきたが、作業量が膨大であり、見逃しも心配されることから、安定した品質の確保が課題となっていた。一方で、コロナ禍により変化した消費動向に対応しつつ、コンビニや大手コーヒーチェーンとの差別化を図るためにも、さらなる品質向上と非対面型のビジネスモデル構築が急務であった。



▲コーヒー豆用シュート式光選別機

2. 実施内容

平成29年度事業として光識別によるコーヒー豆の自動選別機を導入。虫食いや未成熟豆など、欠点豆が完璧に除去できるようになり、品質の「見える化」が実現した。令和1年度には創業来のこだわりであるネル方式のフィルターを開発し、ドリップコーヒー包装機を導入。さらにHPにテイクアウト専用ページを設け、非対面式パーキングドライブスルーテイクアウトシステムの構築を図った。



▲ドリップコーヒー包装機

3. 取り組みの成果

完璧に選別された豆を、ネル式フィルタードリップコーヒーバックとして自社包装できることで、鮮度の高さはもちろん、小ロット多品種展開が可能な高付加価値商品が誕生した。また、コロナ下で必須のモバイルオーダー、キャッシュレス、パーキングドライブスルーが現状店舗で実現。淹れたてコーヒーや軽食と合わせて、ドリップバックのセミオーダーも好評である。



▲自社一貫生産のドリップバッグ、スイングバッグ

事業者から一言 差別化でブランド力を強化

品質の「見える化」と自社製造を強みに、創業来培ってきた「ブランド力」を大きく強化することができました。環境の変化に左右されることなく、いつの日も、素材にも焙煎にもこだわったクオリティの高いコーヒーをお届けし続けたい……その思いを補助金が後押ししてくれた結果です。



代表取締役社長
小原 健亮氏

有限会社オハラ

〒770-8054
徳島県徳島市山城西1-7
Tel.088-655-8877 Fax.088-655-9987
●代表取締役社長 小原 健亮
●設立年月日 平成1年5月
●資本金 1,000万円
●業種 飲食業
●従業員数 26名
●ホームページ <https://coffee-w.com/>